

障害分野NGO連絡会 (JANNET)

1993年～現在まで



JANNET

障害分野NGO連絡会

2018年10月31

設立の経緯-1993年設立

国連・障害者の十年（1983-1992）最終年、国民会議（1992）の分科会「国際協力」に20団体が参加し活動報告を行った結果、共通課題が明らかになった。

それは情報・資金・人材の不足である。

恒常的な**ネットワークの必要性**から、1年間の準備期間を経て、**1993年**12月に障害分野NGO連絡会を設立。

もともとの呼びかけ人は松井亮輔現会長【当時：日本障害者雇用促進協会（現・高齢・障害・求職者雇用支援機構）審議役（国際担当）】と池住義憲さん【当時：アジア保健研修所 事務局長】

概要（JANNETとは）

キーワードは、障害・国際活動・民間

目的：「障害者を取り残さない」という理念のもと

- **アジア太平洋地域**を中心に**障害分野の民間の国際協力・交流**を推進するための関係団体の情報交換および協力・連携の強化、推進等を図る
- 海外の関連国際団体等との**情報交換および交流**の推進を図る

会員：

正会員 27

賛助会員

企業	2
個人	32



JANNET
Japan NGO Network on Disabilities

会員団体の特徴

- ▶ 障害関係団体（障害当事者団体、支援団体、専門職団体）
- ▶ 国際保健から障害に関わる団体
- ▶ 国際協力全般から障害への関心を持つ団体
- ▶ 難民支援、災害緊急支援に障害事業も含める団体
- ▶ 国際研修（JICA委託、ダスキン委託、独自事業）の実施機関
- ▶ 障害プロジェクトの実施団体
- ▶ 国際障害団体との交流
- ▶ 障害分野に関する情報収集・提供

主な活動

1. **情報提供**：メールマガジン（毎月）、ニュースレター（海外カウンターパート向けに年一回、英語でCDで発行）、会員名簿（日英）、「10年の歩み」「JANNET20年の歩み」、『CBRガイドライン概要版&CBRマトリックス使用マニュアル』作成、その他研究会報告書
2. **研究会・研修会の開催**（次ページをご覧ください。）
3. **他団体との協力**
 - ▶ グローバルフェスタ【日本最大級の国際協カイベントへの参加】
 - ▶ SDGsジャパン（一般社団法人SDG s 市民社会ネットワーク）に参加（持続可能な開発目標に関する日本の官・民・関係学界などのネットワーク）

（つづく）

主な活動

3. 他団体との協力（つづき）

- ▶ **国際協力NGOセンター JANIC正会員**としての参加
- ▶ 国際協力NGOセンターJANIC会員として、外務省との意見交換、企業とNGOの連携、国連防災世界会議に関するNGOネットワークに参加。
- ▶ 世界銀行東京・日本財団と共に、**世界銀行コーヒアワー「障害と開発」**シリーズの企画・開催協力。全39回開催（2006-2013）
- ▶ **第三回アジア太平洋CBR会議**を、CBRアジア太平洋ネットワーク、日本障害者リハビリテーション協会とともに共催（2015）



これまでの主な研究会開催

テーマの変遷：各団体の国際活動紹介、その時々で話題になったこと（ICT、ICF、JICAの取り組み、NPO法人設立など）、コミュニティ開発、CBR・CBID、防災関連

1994-2004 JANNET会員が発表者となり、それぞれのアジアでの活動を紹介し合う相互学習。

2005-2008 個人会員の寄付があり、2005年にバングラデシュからナズムル・バリさんを講師に招聘したことをきっかけにバングラデシュのCBRと開発に関する研究会が続く。
(2005、2006、2007に2回、2008)

2008-2009 『CBR』（マルコム・ヒート著）を会員有志で翻訳し発行(監修田口順子氏)。それを基にCBRと開発の勉強会を7回開催。(報告者は会員)

2011- CBRガイドライン(2010) 発表後は同ガイドラインの翻訳ボランティアに会員も活躍。同ガイドラインの勉強会開催。日本の地域福祉とCBRの接点作り。
(社会福祉法人むそう、NPO法人起業支援ネット、松本大学、一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト)
後に日本国内事例集作成(2014) における会員の貢献につながる。

2013-2014 海外講師によるアジアの実践紹介を再開。

2015 第三回アジア太平洋CBR会議開催

2016 講演会開催「カンボジアの村人たちはどうして障害に取り組んだのか？」

2017 「ダリットとして生きる-インド社会で虐げられてきた人々の声に聴く-」



JANNET
Japan NGO Network on Disabilities

これまでの研究会海外講師

国内講師：多くはJANNET会員が務めてきた。

外部講師：JICA、JANIC等

海外講師：他団体の招聘で来日した主にCBRで国際的に著名な方を招いた。

*はJANNET独自事業

マヤ・トーマス、インド（2003）

パドマニ・メンディス、スリランカ

デイビッド・ワーナー、アメリカ（1998、5周年記念イベント）

マルコム・ピート、ローナ・ジーン、カナダ（2003）

ナズムル・バリ、バングラデシュ、ベンジャミン・ゴバン、フィリピン（2005）

アブディン・カーン、バングラデシュ（2007）

マーガレット・オレク、ウガンダ（2007）

ノーマン・カーン、バングラデシュ、ステファン、インド（2007）

ナワン・タカリニ、インドネシア（2010）

ナズムル・バリ、バングラデシュ（2013）

アルビナ・シャンカー、インド（2013、20周年記念イベント）*

マヤ・トーマス、インド（2014）

2015、第三回アジア太平洋CBR会議（JANNET共催にて多数招聘）

ムルガル・カリラトラム、インド（2017）



JANNET
Japan NGO Network on Disabilities

会員団体一覧（正会員 27、賛助会員 2）①

- ▶ アジアの障害者活動を支援する会 (ADDP)
- ▶ (公財) アジア保健研修所 (AHI)
- ▶ きょうされん
- ▶ (NPO) シャプラニール=市民による海外協力の会
- ▶ (社福) 全国盲ろう者協会 (JDBA)
- ▶ (一財) 全日本ろうあ連盟 (JFD)
- ▶ (社福) 東京ヘレン・ケラー協会 (THKA)
- ▶ (NPO) 難民を助ける会 (AAR JAPAN)
- ▶ (社) 日本義肢協会
- ▶ (公社) 日本キリスト教海外医療協力会 (JOCS)
- ▶ (社福) 日本キリスト教奉仕団 アガペセンター (AGAPE JCWS)
- ▶ (一社) 日本作業療法士協会 (JAOT)
- ▶ 日本CBRネットワーク
- ▶ (公財) 日本障害者リハビリテーション協会 (JSRPD)
- ▶ 日本地域共生協議会

会員団体一覧（正会員 27、賛助会員 2）②

- ▶ (社福) 日本点字図書館
- ▶ (公社) 日本発達障害連盟 (JLDD)
- ▶ (NPO) 日本ポーテージ協会 (JPA)
- ▶ (社福) 日本盲人会連合 (JFB)
- ▶ (社福) 日本盲人職能開発センター
- ▶ (社福) 日本ライトハウス
- ▶ (公社) 日本理学療法士協会 (JPTA)
- ▶ (NPO) ヒーリングファミリー財団
- ▶ ベトナムの子ども達を支援する会 (SVCA)
- ▶ 南太平洋医療隊
- ▶ (NPO) ワールド・ビジョン・ジャパン
- ▶ 全国手をつなぐ育成会連合会
- ▶ (公財) ダスキン愛の輪基金【賛助会員】
- ▶ (企業) 株式会社レデス【賛助会員】

